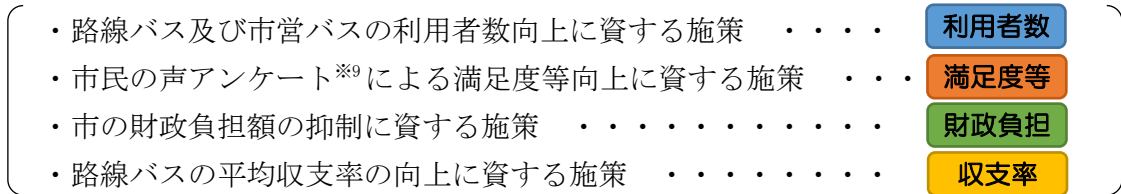


第6章 主要施策

本計画に掲げた基本方針及び目標（P38）を達成するため、第5章に記載した取組方針に基づき、バス路線の再編計画と公共交通の利用促進の取組を主とした施策を定める。

■目標項目と施策の関連性

以下に記載する施策について、個々の目標の達成に向けた評価や見直しの参考とするため、次のとおり目標達成との関連性を示す。



1 バス路線の再編計画



(1) 概要

第5章に記載した取組方針に基づき、バス路線の再編計画を地域別に定める。

(2) 地域別の再編計画（実施主体：交通事業者、上越市、上越市地域公共交通活性化協議会※5）

地域別のバス路線の再編計画の内容は、以下のとおりとする。

■地域別の再編計画の見方

②安塚区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	1,960人
15歳未満	85人 4.3%
65歳以上	1,063人 54.2%
75歳以上	637人 32.5%

■地域の送迎

No.	名称	実施主体	運行日
1	スクールバス	市	安塚小学校区、安塚中学校区 平日
2	福祉有償運送	NPO法人と安塚	安塚区～上越市内 予約に応じて
3	通院送迎	市川原診療所、三上農協、保命の通院送迎	安塚区内～各医療機関 予約に応じて
4	サロン送迎	NPO法人と安塚	安塚区内 週3回（月・水・金）

地域で運行している公共交通以外の輸送手段

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況（R4決算）				1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	評価結果			
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率						
1	安塚線	幹線	8,052	1,742	6,310	21.6%	2,726	3,583	12,169	2.5(5.0)	0.6	Ⅲ運行の効率化
										2.0(3.8)	0.4(0.5)	Ⅱ運行形態の転換等
	合計		21,055	2,705	18,350	12.8%	5,726	12,622	18,201			

地域で運行する路線の役割（区分）、収支、1便当たりの利用者数、評価結果等

■乗降調査の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)		利用の特徴
		平日	土曜日	平日	土曜日	平日	土曜日	
1	安塚線	10	0	4	0	25	0	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は利用が少ない
2	大平線	-	-	-	-	0	25	・朝夕の通学利用が主
3	予約型コミュニティバス	-	-	0	8	8	0	・午前中の通院・買物利用が主 ・早朝や夜遅い時間帯の利用が少ない

乗降調査の結果

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	安塚線	幹線	R7年4月	通院・買物利用の需要を確保し、運行の効率化を図る。
2	大平線	支線	R6年4月	「小谷島」～「大島コミュニティラザ」間を廃止する。
3	予約型コミュニティバス	支線	R7年4月	利用実態に合わせた時間帯ごとの車両台数や運行時間の調整を行い、運行の効率化を図る。

※幹線と支線の乗換拠点は、安塚区総合事務所前及び虫川大杉駅

■再編前



※【地図の出力】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出力】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成

①-1 合併前の上越市（幹線）

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	126,757人	
15歳未満	15,364人	12.1%
65歳以上	39,030人	30.8%
75歳以上	20,977人	16.5%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	直江津小学校区、保倉小学校区、有田小学校区	平日
			直江津東中学校区	冬期間
2	福祉有償運送	上越福社会	上越市内及び妙高市内	予約に応じて
		スキップ、ギフトテッド	合併前上越市内	
3	通院支援車	市	中ノ俣・上綱子地区～各医療機関	毎週火・金曜
4	通院送迎	佐藤医院、五十嵐医院、石田眼科、斎藤眼科ほか	～各医療機関	通年
5	サロン送迎	まちづくり団体(新道、諏訪、和田、高土、有田、保倉、谷浜・桑取地区)	地区内～会場	開催日
6	交通空白地有償運送	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	中ノ俣研修センター～ナルス南高田店～イチコ高田西店	毎週木曜
7	買物バス	諏訪の里づくり協議会(諏訪地区)など	各地区～各商業施設	月1回など

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	上越大通り線(西城町経由)	主要幹線	23,088	10,572	12,516	45.8%	0	0	73,018(74,797)	15.0(15.4)	1.7-6.1	IV現状維持
2	上越大通り線(本町経由)	主要幹線	89,918	24,818	65,101	27.6%	17,362	47,738	176,932(220,253)	17.3(21.6)	1.6	IV現状維持
3	上越大通り線(新井行き)	主要幹線	45,328	14,645	30,683	32.3%	8,933	15,276	70,768(80,650)	8.8(10.1)	1.8	IV現状維持
4	教育大学線	幹線	26,053	7,117	18,936	27.3%	3,239	13,022	39,745(49,215)	6.6(8.3)	1.0-1.6	IV現状維持
5	富岡線	幹線	28,409	13,041	15,368	45.9%	2,850	9,603	68,817(78,677)	12.5(14.4)	2.2	IV現状維持
6	春日山・佐内線	幹線	32,795	8,639	24,156	26.3%	2,568	18,222	50,739(66,143)	7.6(9.9)	1.0-1.5	IV現状維持
7	佐内・直江津循環線	幹線	7,069	653	6,416	9.2%	3,227	3,188	5,099(7,066)	2.1(2.9)	0.5	Ⅲ運行の効率化
8	直江津・浦川原線	幹線	39,204	11,349	27,854	28.9%	4,421	14,845	83,857(81,753)	13.8(13.5)	0.6-2.1	IV現状維持
9	謙信公大通り循環線	幹線	6,905	954	5,951	13.8%	0	5,242	5,291(6,757)	1.8(2.3)	0.7	Ⅲ運行の効率化
10	春日山駅・アルカディアシャトル便	幹線	4,174	540	3,634	12.9%	0	3,205	6,203(8,754)	2.5(3.6)	0.8	Ⅲ運行の効率化
11	謙信公大通り線	幹線	809	207	602	25.6%	0	519	846(1,396)	1.9(3.3)	0.8	Ⅲ運行の効率化
12	桑取線	支線	22,789	3,484	19,306	15.3%	0	16,967	33,185(51,402)	9.7(15.1)	0.8	IV現状維持
13	山麓線	幹線	6,192	1,387	4,805	22.4%	0	4,169	10,210(12,104)	7.0(8.3)	1.2	IV現状維持
14	増田線	幹線	8,825	1,493	7,331	16.9%	0	7,331	10,305(7,572)	7.1(5.2)	0.9	IV現状維持
15	宮口線	幹線	29,183	7,124	22,059	24.4%	0	22,058	22,594(45,978)	4.3(6.3)	1.1-1.6	Ⅲ運行の効率化
16	真砂線	幹線	7,741	1,430	6,311	18.5%	2,726	3,584	5,219(5,996)	2.7(2.7)	0.8	Ⅲ運行の効率化
17	清里線	幹線	26,123	5,993	20,131	22.9%	0	20,128	21,070(63,253)	3.6(3.6)	1.2-1.4	Ⅲ運行の効率化
合計			404,605	113,446	291,160	28.0%	45,326	205,097	683,898(861,766)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数
 ※平均乗車密度は各系統の数値(各路線は、経由地や起終点により複数系統に分かれている)
 ※No.15～17の平成30年度の年間利用者数は、再編前の路線全体の実績
 また、1便当たりの利用者数は、幹線部分における実績

No.	路線	【参考】1日当たりの 運行便数(便)		1日当たりの利用便数 (便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	上越大通り線 (西城町経由)	16	8	15	8	110	-	-	26	・利用は多目的
2	上越大通り線 (本町経由)	30	24	30	23	297	-	-	95	・利用は多目的
3	上越大通り線 (新井行き)	24	18	24	17	131	-	-	38	・利用は多目的
4	教育大学線	17	15	17	15	67	-	-	43	・利用は多目的
5	富岡線	15	15	15	15	151	-	-	94	・利用は多目的
6	春日山・佐内 線	20	15	19	14	75	-	-	31	・利用は多目的
7	佐内・直江津 循環線	8	4	7	3	21	-	-	6	・通院や買物による利用が主
8	直江津・浦川 原線	18	14	18	10	147	-	-	22	・利用は多目的
9	謙信公大通り 循環線	6	0	6	-	14	-	-	-	・平日のみの運行 ・通院、買物利用が主
10	春日山駅・ア ルカディアシャ トル便	0	10	-	9	-	-	-	47	・土休日のみの運行 ・各商業施設、公共施設等への 利用が主
11	謙信公大通り 線	3	0	2	-	3	-	-	-	・平日のみの運行 ・通院利用が主
12	桑取線	10	8	7	3	61	-	-	5	・朝夕の通学利用が主 ・昼間と土休日は利用が少ない
13	山麓線	6	0	5	-	16	-	-	-	・平日のみの運行 ・朝は通学利用あり ・昼以降は利用が少ない
14	増田線	6	0	5	-	31	-	-	-	・平日のみの運行 ・通学、通院利用が主
15	宮口線	17	9	16	7	67	-	-	14	・通学、通勤、通院利用が主
16	真砂線	8	0	6	-	15	-	-	-	・平日のみ運行 ・朝夕は高校生の通学利用や 通院利用が主
17	清里線	18	12	16	9	71	-	-	7	・通学、通勤、通院利用が主

※令和5年1月調査から

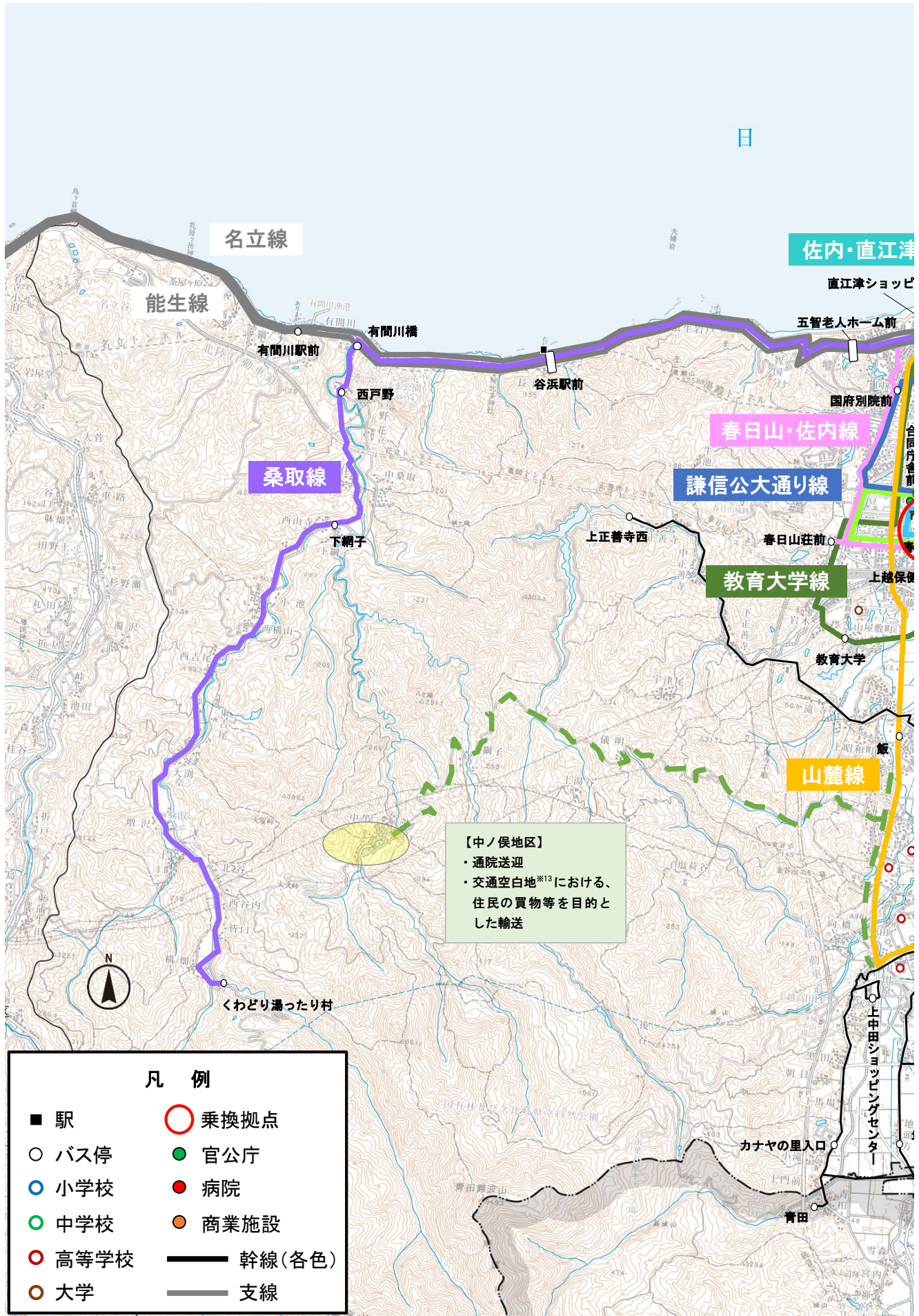
(No.7 佐内・直江津循環線及びNo.9.謙信公大通り循環線は、上記の調査時点で運休していたため、令和4年1月調査の数値を記載)

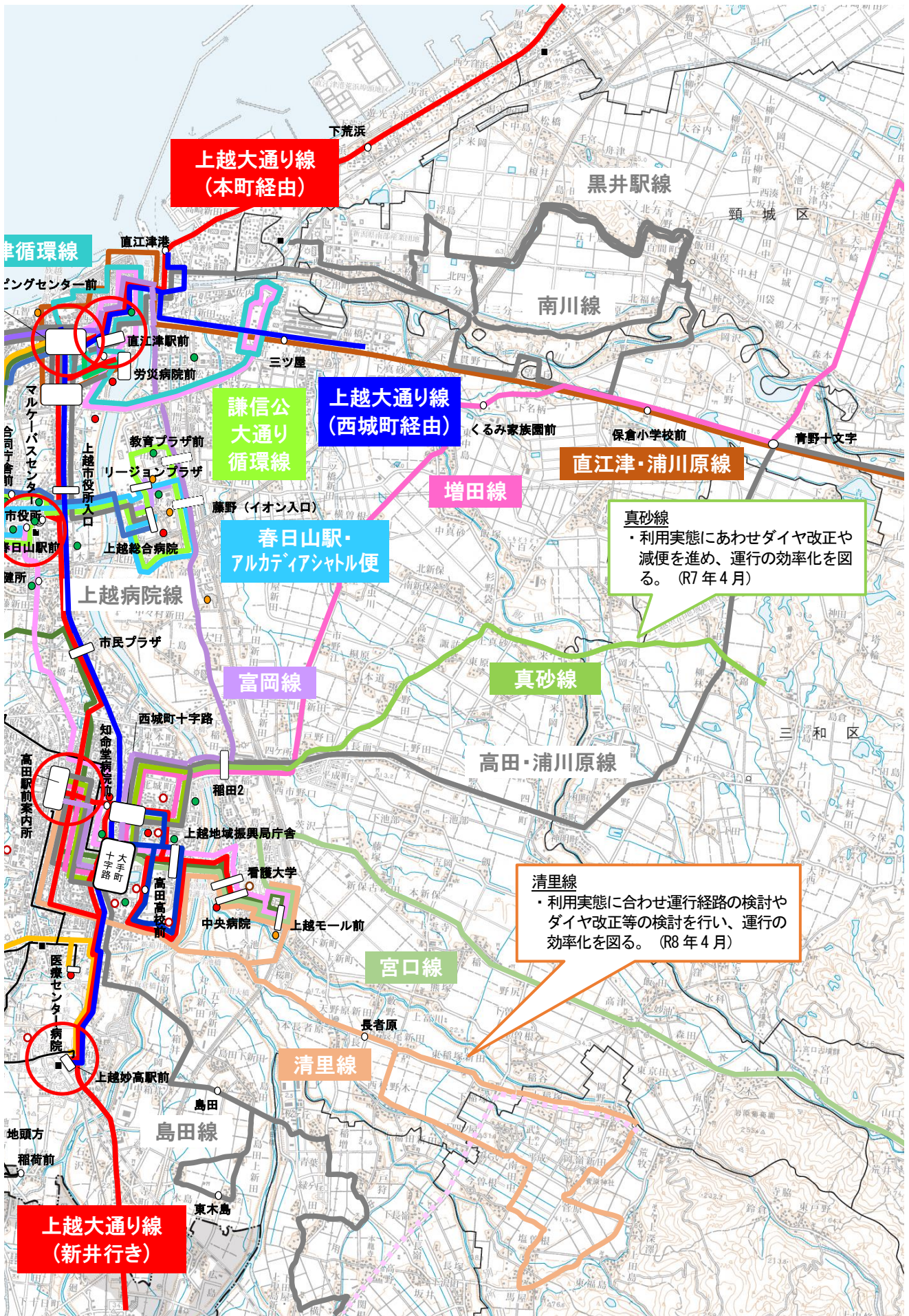
No.1～13の1日当たりの利用人数は、便ごとの最大利用者数の合計

■再編の方向性（1便当たりの利用者数における評価が「Ⅲ運行の効率化」である路線のみ）

No.	路線名	区分	主な再編 時期	再編の方向性
1	佐内・直江津循環線	幹線	-	・現状維持 ※R5年4月に減便による再編を実施していることから、利用促進等を通じて利用者数の増を図る。
2	謙信公大通り循環線	幹線		
3	春日山駅・アルカディアシャトル便	幹線		
4	謙信公大通り線	幹線		
5	宮口線	幹線	-	・現状維持 ※R3年4月に幹線と支線に分割等による運行の効率化を実施していることから、利用促進等を通じて利用者数の増を図る。
6	真砂線	幹線	R7年4月	・利用実態に合わせダイヤ改正や減便を進め、運行の効率化を図る。 ・小学校の統廃合など利用ニーズの変化を把握しながら、運行内容を検討する。
7	清里線	幹線	R8年4月	・利用実態に合わせダイヤ改正や減便を進め、運行の効率化を図る。
8	労災病院前を経由する路線	幹線・支線	-	・新潟労災病院の再編に係る議論の動向を注視し、必要に応じて各路線の利用実態やニーズを踏まえた再編を行う。

■路線図（再編前後で変更予定なし）





※【地図の出典】 国土地理院発行 5万分の1地形図を加工して作成

①-2 合併前の上越市（正善寺線、高田南循環線）

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	126,757人	
15歳未満	15,364人	12.1%
65歳以上	39,030人	30.8%
75歳以上	20,977人	16.5%

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市負担 (千円)	年間 利用者数 (人)	1便当たり 利用者数(人)		平均乗 車密度
1	正善寺線	支線	6,072	699	5,373	11.5%	0	5,372	5,322 (5,740)	2.7 (3.0)	0.6	II 運行形態の転換等
2	高田南循環線	支線	4,617	339	4,279	7.3%	0	4,278	930	1.2	0.7	II 運行形態の転換等
合計			10,689	1,038	9,652	9.7%	0	9,650	6,252 (5,740)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数
 ※高田南循環線は令和4年4月に再編したため、収支等の状況は令和4年4月から9月までの実績

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの 運行便数(便)		1日当たりの利用便数 (便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	正善寺線	8	—	8	—	16	10	6	—	<ul style="list-style-type: none"> 平日のみ運行 朝夕は飯小学校の通学や通院利用が主 12時台、17時台の利用は少ない
2	高田南循環線	6	—	6	—	16	13	3	—	<ul style="list-style-type: none"> 平日のみ運行 朝夕は高田商業高校の通学や通勤利用が主 昼間の利用は少ない

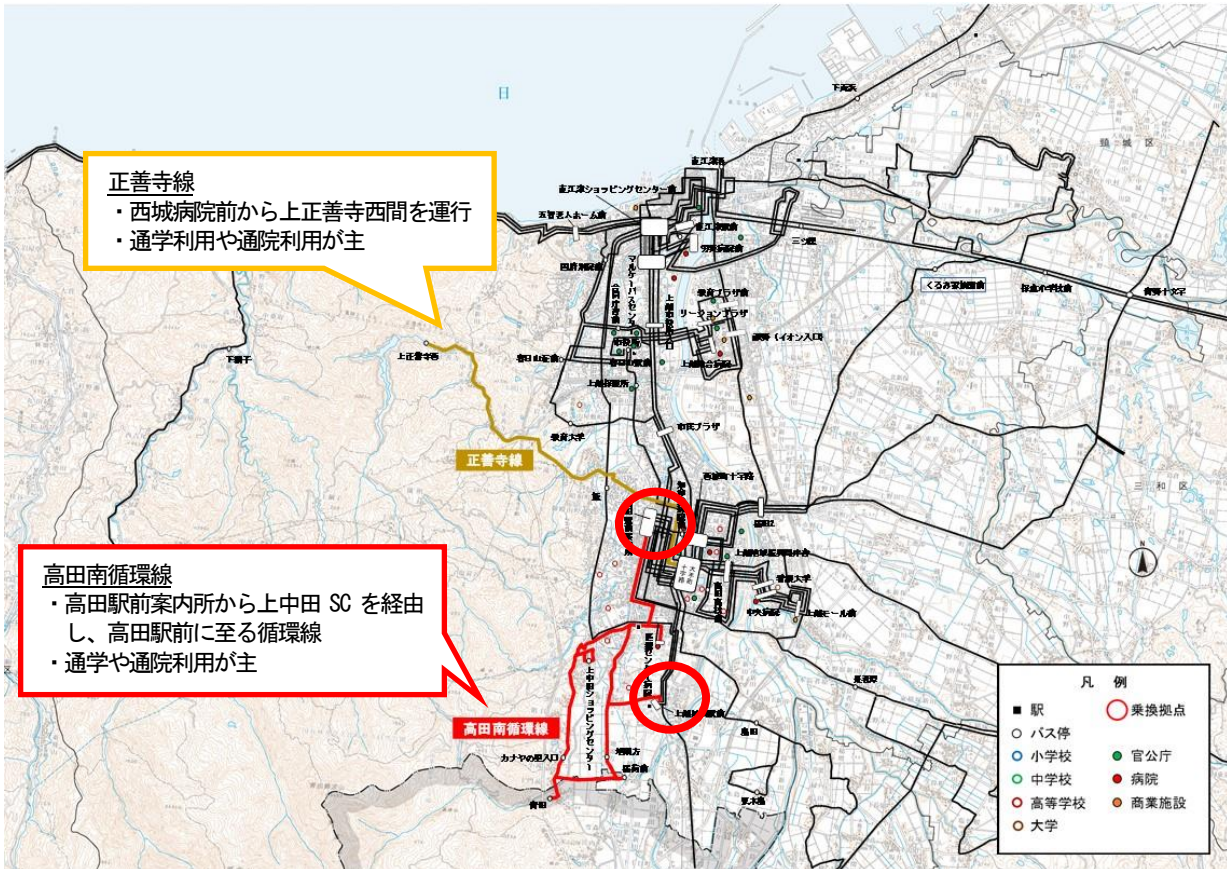
※令和5年1月調査
 ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編 時期	再編の方向性
1	正善寺線	支線	R9年4月 まで	<ul style="list-style-type: none"> 予約型コミュニティバスへの転換について検討を進める。 (運行範囲は妙高はねうまライン以西の正善寺線、高田南循環線沿線とする。小学校の朝夕の通学時間帯は定時便を運行。)
2	高田南循環線	支線	R9年4月 まで	

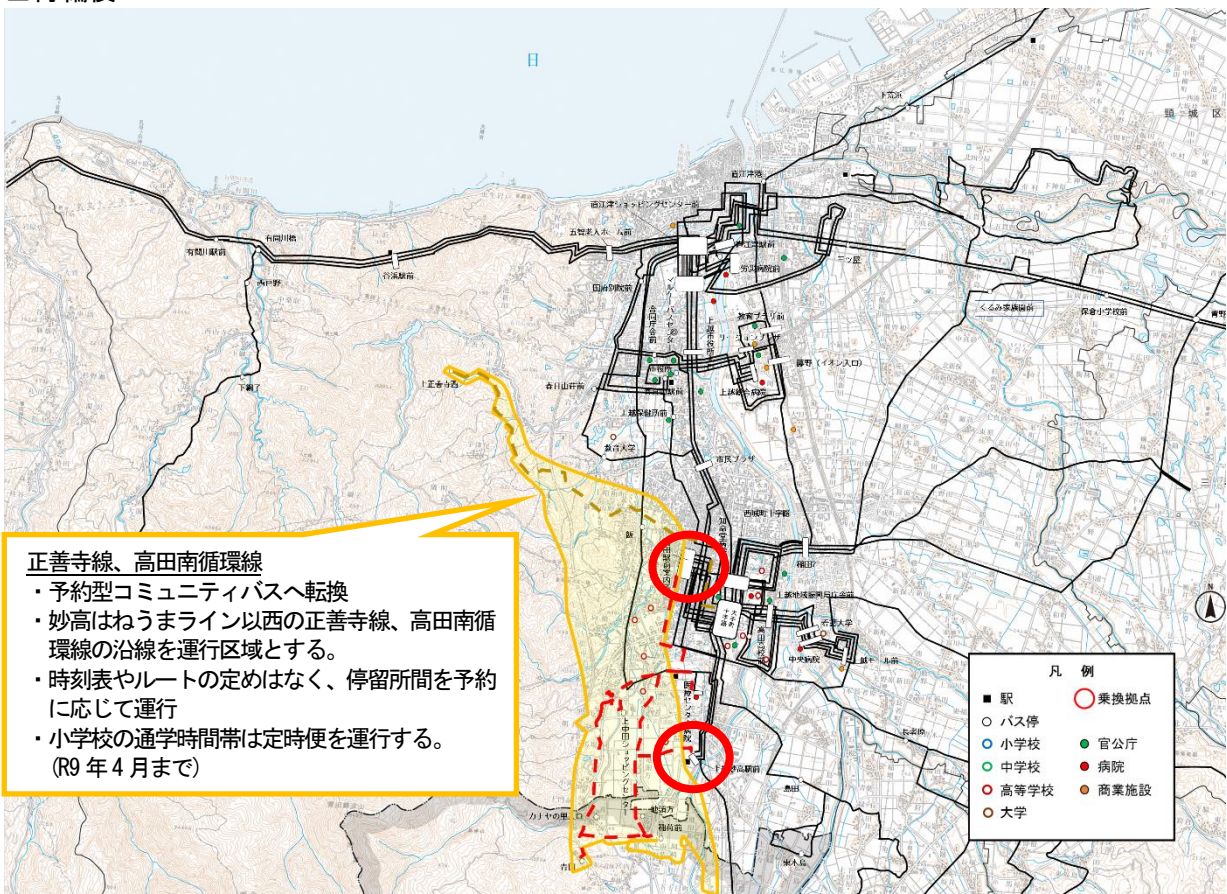
※幹線と支線の乗換拠点は大手町十字路口(正善寺線)及び高田駅前案内所(高田南循環線)

■再編前



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

②安塚区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	1,960人	
15歳未満	85人	4.3%
65歳以上	1,063人	54.2%
75歳以上	637人	32.5%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	安塚小学校区、安塚中学校区	平日
2	福祉有償運送	NPO雪のふるさと安塚	安塚区～上越市内	予約に応じて
3	通院送迎	浦川原診療所、五十嵐医院、保倉の里診療所	安塚区内～各医療機関	予約に応じて
4	サロン送迎	NPO雪のふるさと安塚	安塚区内	週3回 (月・水・金)

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)									評価結果
			経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市補助・ 市負担 (千円)	年間 利用者数 (人)	1便当たり 利用者数(人)	平均乗 車密度	
1	安塚線	幹線	8,052	1,742	6,310	21.6%	2,726	3,583	12,169 (23,722)	2.5 (5.0)	0.6	Ⅲ運行の効率化
2	大平線	支線	6,464	774	5,690	12.0%	0	5,689	5,047 (9,243)	2.0 (3.8)	0.4 0.3	Ⅱ運行形態の転換等
3	予約型コミュニティバス	支線	6,539	189	6,350	2.9%	3,000	3,350	991	-	-	-
合計			21,055	2,705	18,350	12.8%	5,726	12,622	18,207 (32,965)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数
 ※大平線の平均乗車密度は各系統の数値(起終点により、2系統に分かれている)
 ※予約型コミュニティバスは、令和4年10月から令和5年3月までの数値

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの 運行便数(便)		1日当たりの利用便数 (便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土曜日	平日	土曜日	平日	一般	学生	土曜日	
1	安塚線	18	8	7	1	31	6	25	1	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は利用が少ない
2	大平線	10	0	4	0	25	0	25	0	・朝夕の通学利用が主
3	予約型コミュニティバス	-	0	6	0	8	8	0	0	・午前中の通院・買物利用が 主 ・早朝や夜遅い時間帯の利用 が少ない

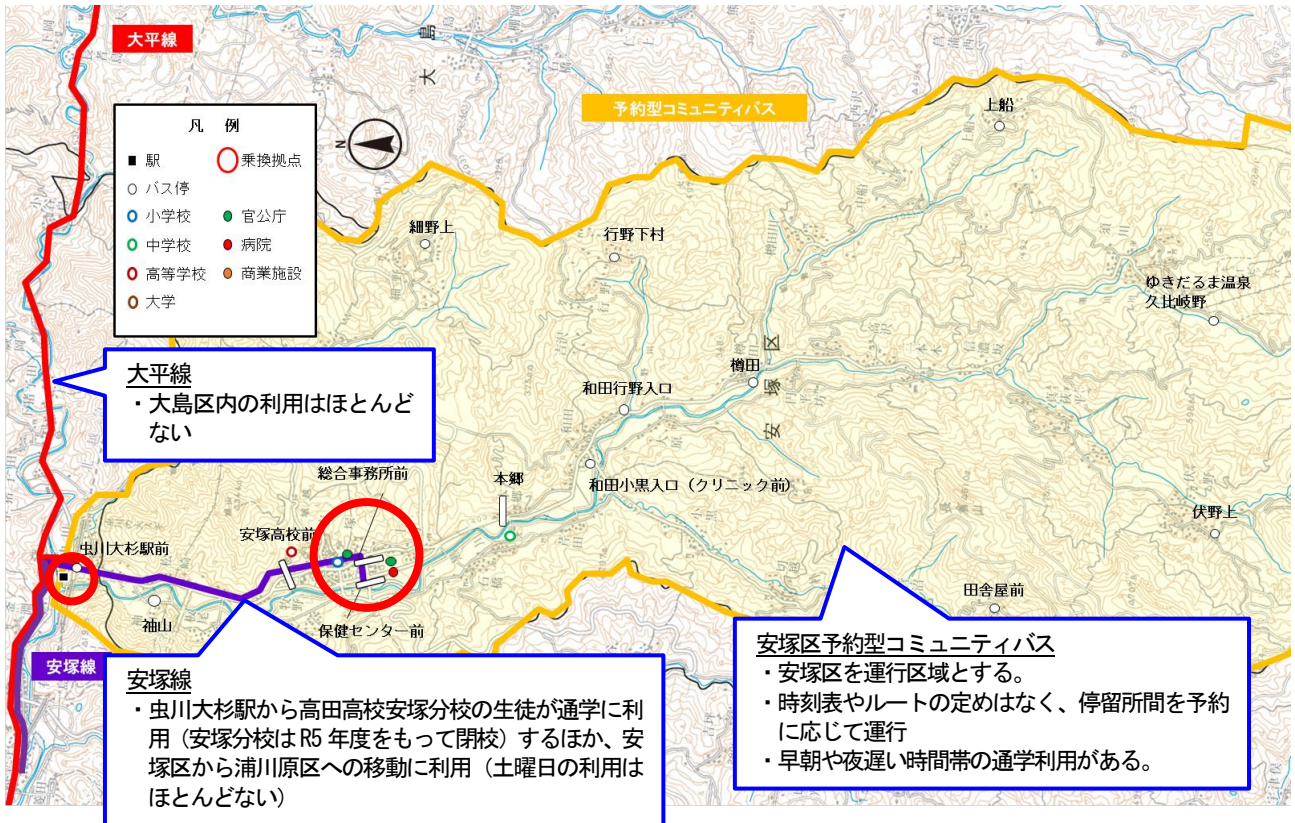
※予約型コミュニティバスは令和5年1月末時点の実績から、その他は令和5年1月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編 時期	再編の方向性
1	安塚線	幹線	R6年4月	・減便や運行ダイヤの調整を行い、運行の効率化を図る。
2	大平線	支線		・利用が極めて少ない「小谷島」～「大島コミュニティプラザ」間を廃止する。
3	予約型コミュニティバス	支線	R7年4月	・利用実態に合わせた時間帯ごとの車両台数や運行時間の調整を行い、運行の効率化を図る。

※幹線と支線の乗換拠点は、安塚区総合事務所前及び虫川大杉駅

■再編前



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成